



新型コロナウイルス感染症はもう怖くない？

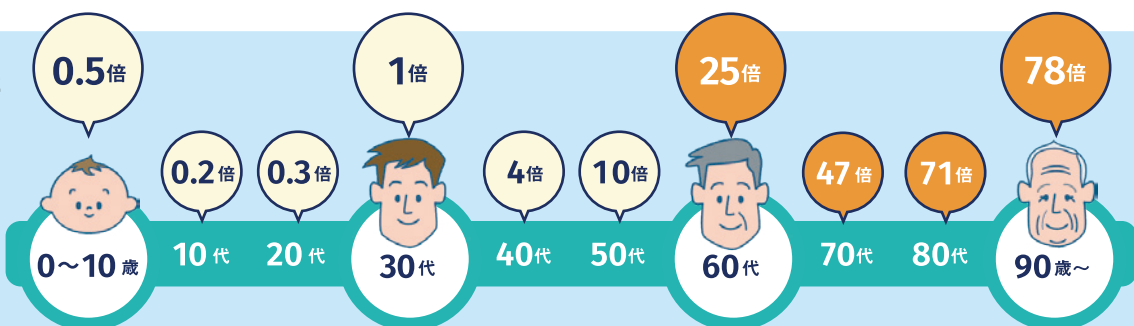
感染症の流行は現在でも確認されています¹⁾。
65歳以上の方は、感染対策の1つとして流行株に対応したワクチンの接種をご検討ください。



新型コロナウイルスは現在も変異を繰り返しており²⁾、
**すでに感染したことがある方や、
新型コロナワクチンを接種した方**でも
新しい変異株に**再感染する
可能性**があります³⁾



30歳代と比較した場合の各年代の重症化率⁴⁾



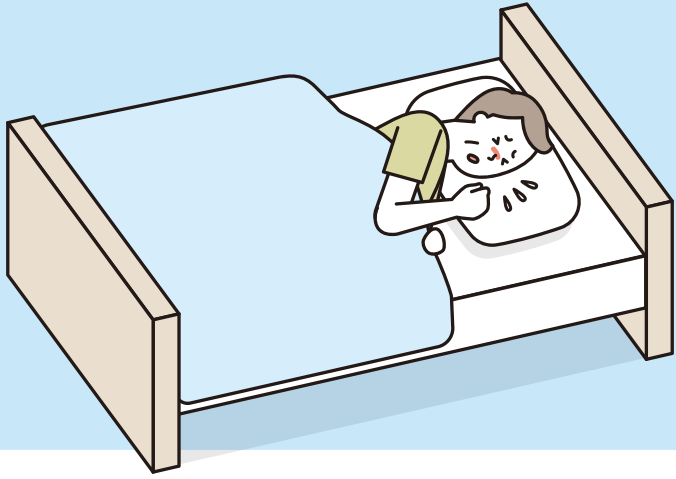
年齢が上がるごとに重症化するリスクが高まります⁴⁾

**倦怠感、呼吸困難、
筋力低下、集中力低下**
などの**後遺症**が
現れることもあります⁴⁾



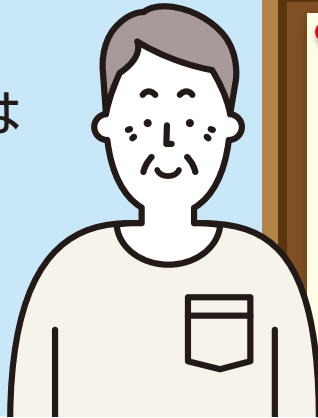
1) 厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料(発生状況)2024年
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00461.html (2024年5月8日閲覧)
 2) 国立感染症研究所:SARS-CoV-2変異株について
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/10745-cepr-topics.html> (2024年5月8日閲覧)
 3) Tan CY et al. Lancet Infect Dis 2023; 23: 799-805.
 4) 厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識(2023年4月版)
<https://www.mhlw.go.jp/content/000927280.pdf> (2024年5月8日閲覧)





ワクチン接種は
重症化予防等が
期待できます¹⁾。

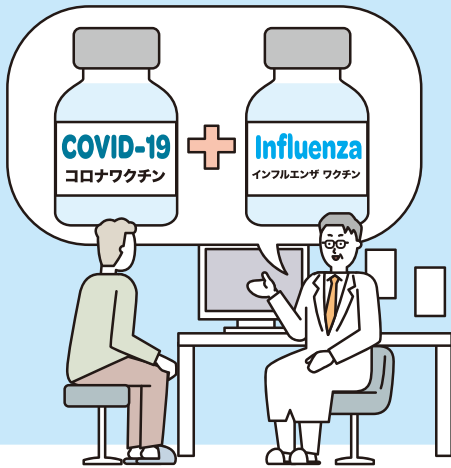
65歳以上の人は
定期接種の
対象です。



定期接種の対象者²⁾

- ✓ 65歳以上
- ✓ 60歳から64歳までの
基礎疾患^{*}を有する人

※心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方



新型コロナウイルスワクチンは
インフルエンザワクチンを含めた
他のワクチンと**同時接種**も可能です。
医師にご相談ください¹⁾。

新型コロナワクチン接種については
かかりつけ医の先生に
ご相談ください。



1)厚生労働省.新型コロナワクチンQ&A https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa.html#21 (2024年5月8日閲覧)

2)厚生労働省.新型コロナワクチンについて https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html (2024年5月8日閲覧)